

# 辰野町ゼロカーボンシティ宣言

辰野町は、日本のど真ん中に位置し、周囲を豊かな山々に囲まれ、町面積の86%を山林が占める自然豊かな土地です。町内には、町のシンボルであるほたるで有名な松尾峡、美しい景観をもつ横川峡と蛇石、日本最大のシダレグリ自生地など、豊かな自然に裏付けられた様々な名所があります。

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象により、日本各地で猛暑や豪雨による災害等が頻発しています。辰野町も例外ではなく、平成18年7月と令和3年8月にそれぞれ大雨災害が発生しました。河川の氾濫、浸水被害が発生し、平成18年7月豪雨災害では4名の尊い命が失われるなど、災害の恐ろしさを多くの町民が目にする事となりました。

このように、地球温暖化による影響は、無視できないところまで迫ってきています。辰野町の豊かな自然を守っていくためには、私たち一人ひとりが、今まで以上に地球環境の変化に強い危機感を持ち、町民、事業者、団体、そして行政が一丸となり、脱炭素社会の実現に向けて真摯に取り組んでいかなければなりません。

以上のことから、私たちは2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指して、次の3つの基本方針のもと、具体的な行動を進めてまいります。

## 基本方針1: みんなが「ずく」を出して取り組む

町民みんなが「ずく」を出してできることに着実に取り組もう

## 基本方針2: 最善・最適な投資で未来につなげる

日々実用化される技術を見極め、みんなで上手に活用することで未来につなげよう

## 基本方針3: 環境リテラシーを高める

幅広い年代への環境教育や啓発活動を通して、みんなで環境問題に対する理解を深めよう

ほたるに象徴される豊かな自然は辰野町の誇りです。

私たちは、「ひとも まちも 自然も輝く 光と緑と ほたるの町」と表される美しいふるさとを守り、これから生まれてくる次の世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロのゼロカーボンシティを目指すことをここに宣言します。

日本のど真ん中からゼロカーボンを発信し、日本中心のゼロポイントがある辰野町が二酸化炭素排出量実質ゼロポイントにもなれるよう、全員で一丸となって取り組んでいきましょう。

令和6年1月13日

長野県 辰野町長



2050 ぜろかほん たつの